

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
当社ホームページ
(<http://www.aoi-electronics.co.jp/>) にて
掲載いたします。
やむをえない理由により、電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載
いたします。

単元株式数 100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第 53 期 中間報告書

(2020年4月1日から
2020年9月30日まで)

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第53期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の中間報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

取締役社長 中山 康 治

会社の概要 (2020年9月30日現在)

- (1)商号 アオイ電子株式会社
- (2)設立 1969年2月1日
- (3)本社 香川県高松市香西南町455番地の1
- (4)工場 高松工場 香川県高松市香西南町455番地の1
観音寺工場 香川県観音寺市吉岡町262番地
朝日町事業所 香川県高松市朝日町三丁目5番14号
- (5)営業所 東京営業所 東京都港区港南二丁目16番4号
品川グランドセントラルタワー5F
- (6)従業員 1,787名(119名)
(注)従業員数は就業員数であり、契約社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。
- (7)関係会社
- | | |
|----------------|------------------------|
| ハヤマ工業株式会社 | 香川県高松市朝日町三丁目3番5号 |
| ハイコンポーネツ青森株式会社 | 青森県北津軽郡鶴田町大字山道字小泉275番地 |
| 青梅エレクトロニクス株式会社 | 東京都青梅市藤橋三丁目3番地の2 |
| 株式会社 ヴィーネックス | 香川県観音寺市吉岡町262番地 |
- (8)主な事業の内容
- 当社グループは、電子部品の製造販売を主たる事業内容としております。
- なお、事業部門別には次の製品の製造販売をいたしております。
- ① 集積回路・IC、光学センサー、ウェハーレベルパッケージ、LED等
 - ② 機能部品・プリントヘッド、各種センサー、チップネットワーク抵抗器等
- (9)その他
- | | | |
|----------------|---------|-------|
| ISO9001 認証 | 本社・高松工場 | 1994年 |
| ISO9001 認証 | 観音寺工場 | 1999年 |
| ISO14001 認証 | 本社・高松工場 | 2000年 |
| ISO14001 認証 | 観音寺工場 | 2001年 |
| ISO/TS16949 認証 | 本社／高松工場 | 2016年 |
| IATF 16949 認証 | 本社／高松工場 | 2018年 |

経営方針

経営の基本方針

当社グループは、多様化する情報社会を支える電子部品の生産を通じて、常に人々の暮らしと深く関わっていることを認識し、「熱意」「誠意」「創意」をキーワードに信頼性の高い製品を安定的に供給することを使命と考えております。

当社グループを取り巻く経営環境は、今後とも大幅な変動が予想されております。そのような状況にあって、市場環境の変化、顧客ニーズの多様化に対応するため、意思決定の迅速化、効率的な設備投資・研究開発投資の継続実施、人材の育成および組織間の連携など内部体制の強化を強力に推進してまいります。

また、将来の経営基盤の安定のため、新製品および高付加価値製品の開発により、収益力の向上、財務体質の充実を図ってまいります。

利益配分に関する基本方針

企業体質の充実強化と将来の事業展開を見据えた内部留保を確保しつつ、株主のみなさまに対する安定的な利益還元を最重要課題のひとつと考えており、利益の状況、配当性向などを総合的に判断したうえで、安定的な配当の継続に取り組んでまいります。

内部留保金の使途につきましては、当業界が装置集約型産業に属し、技術革新の速さ、製品のライフサイクルの短縮に伴う量産ラインの切り替えの早期化など、利益の再投資により企業全体の利益を拡大していくという基本方針に基づき、長期的な視野に立った新製品への開発投資、生産効率の向上・合理化を目的とする設備の開発・改善などに充たさせ、価格競争力の強化に寄与させてまいりたいと考えております。

目標とする経営指標

当社グループは、企業価値の拡大を図るため、収益力の向上、財務体質の充実を目指しており、ROA（総資産利益率）15%以上、ROE（自己資本利益率）10%以上を中長期的な目標としております。

会社が対処すべき課題

当社グループは、「革新と創造」を続け、常に前進する企業グループを目指して、以下の経営戦略により取り組んでまいります。

- ① グループの総力を結集し、未来につながる商品を創造し、新たな市場を開拓する。
- ② 商品の集中と選択、そして生産効率の革新に尽力する。
- ③ モノづくりの基本に徹し、お客様の信頼にお応えできる商品を提供する。
- ④ お客様の商品開発段階に提案・参画できる営業となる。
- ⑤ 有言実行を旨とし、挑戦できる強い人材を育てる。
- ⑥ 地球と人にやさしい企業となる。

事業の状況

当中間連結会計期間の事業の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済の下振れやインバウンド需要の減少を背景に企業の経営成績は悪化し、個人消費も自粛ムードによる消費マインドの冷え込みにより低調に推移いたしました。海外においては、米国や欧州では、感染拡大の抑制に向けた経済活動規制などにより景気は大幅に減速いたしました。中国においては、一部持ち直しの兆しがあるものの依然として厳しい状況にあり、今後の先行きも極めて不透明な状況となっております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、携帯情報端末向け部品は、5G通信（第5世代移動通信システム）対応端末の増産やサプライチェーンの混乱を懸念した顧客の在庫積み増しなどのため受注は概ね堅調に推移いたしました。自動車の販売台数の大幅な減少による車載向け部品の受注減や、設備投資の抑制による産業機器向け部品の低迷などにより低調に推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループの当中間連結会計期間の連結売上高は19,807百万円（前年同期比1,282百万円減、6.1%減）、営業利益は原材料価格の高騰や新商品開発に向けての研究開発費が増加したことなどから659百万円（前年同期比1,125百万円減、63.0%減）、経常利益は659百万円（前年同期比1,153百万円減、63.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は441百万円（前年同期比793百万円減、64.2%減）となりました。

当社グループの製品の種別区分ごとの売上高であります。集積回路は、自動車関連業界の市況低迷や経済活動の停滞による産業機器向け部品の受注減少などにより17,640百万円（前年同期比431百万円減、2.4%減）となりました。機能部品は、中国向けサーマルプリントヘッドの受注が大幅に減少したことにより2,115百万円（前年同期比844百万円減、28.5%減）となりました。

通期の業績予想

通期の業績予想につきましては、欧米をはじめとする新型コロナウイルスの再拡大の懸念に加えて、中間期までの在庫積み増しと米中貿易摩擦による駆け込み需要の影響など先行き不透明な状況であることから、2020年7月31日に公表いたしました予想を据え置くこととし、連結売上高38,000百万円（前年同期比4,342百万円減、10.3%減）、経常利益700百万円（前年同期比2,719百万円減、79.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円（前年同期比1,298百万円減、72.2%減）を見込んでおります。

●前中間連結会計期間および前連結会計年度との業績の比較

区 分	年 度	前中間連結会計期間 〔2019年4月1日から 2019年9月30日まで〕	当中間連結会計期間 〔2020年4月1日から 2020年9月30日まで〕	前連結会計年度 〔2019年4月1日から 2020年3月31日まで〕
売上高	(百万円)	21,089	19,807	42,342
経常利益	(百万円)	1,813	659	3,419
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	(百万円)	1,235	441	1,798
1株当たり中間(当期)純利益(円)		102.93	36.82	149.91
総資産	(百万円)	58,464	57,815	57,758
純資産	(百万円)	48,005	48,180	48,043
1株当たり純資産額	(円)	4,000.72	4,015.27	4,003.91

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨て、1株当たり中間(当期)純利益および1株当たり純資産額は小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しております。
2. 1株当たり中間(当期)純利益は期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。
- また、1株当たり純資産額は中間期末(期末)発行済株式総数に基づき算出しております。

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別 前中間連結会計期間末 (2019年9月30日現在)	当中間連結会計期間末 (2020年9月30日現在)	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)
(資産の部)			
【流動資産】	39,915,280	39,604,362	39,440,477
現金及び預金	25,051,320	23,953,520	22,992,294
受取手形及び売掛金	9,268,500	8,662,423	9,145,109
電子記録債権	986,359	1,620,299	1,797,609
有価証券	2,000,000	3,000,000	3,000,000
商品及び製品	100,845	59,004	126,872
仕掛品	887,217	780,589	920,228
原材料及び貯蔵品	1,278,649	1,336,216	1,180,658
前払費用	74,652	109,869	52,167
その他	267,733	82,438	225,537
【固定資産】	18,549,169	18,210,812	18,317,545
(有形固定資産)	14,139,924	13,593,477	13,686,355
建物及び構築物	6,217,060	5,832,632	6,078,931
機械装置及び運搬具	2,679,282	3,141,073	2,788,973
工具、器具及び備品	388,204	460,499	396,633
土地	3,384,211	3,384,211	3,384,211
リース資産	155,091	172,685	154,794
建設仮勘定	1,316,074	602,375	882,811
(無形固定資産)	390,610	343,093	348,110
のれん	168,060	155,376	161,718
その他	222,550	187,717	186,391
(投資その他の資産)	4,018,634	4,274,241	4,283,079
投資有価証券	2,427,455	2,457,274	2,389,228
退職給付に係る資産	232,669	106,240	97,026
繰延税金資産	948,417	1,249,594	1,313,553
その他	410,091	461,131	483,270
資産合計	58,464,450	57,815,175	57,758,023

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 64,842,614千円
2. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	期別 前中間連結会計期間末 (2019年9月30日現在)	当中間連結会計期間末 (2020年9月30日現在)	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)
(負債の部)			
【流動負債】	9,292,049	8,203,776	8,579,913
支払手形及び買掛金	2,599,261	2,031,023	2,351,936
電子記録債務	1,749,083	1,821,562	1,610,325
短期借入金	190,000	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	259,739	264,323	230,429
リース債務	63,221	70,983	72,283
未払金	1,971,619	1,851,243	2,196,118
未払法人税等	685,004	244,763	451,085
賞与引当金	776,743	799,851	782,699
その他	997,375	930,025	695,036
【固定負債】	1,166,569	1,431,347	1,134,240
長期借入金	575,520	802,864	472,524
リース債務	102,879	148,008	132,229
繰延税金負債	40,551	17,441	28,801
退職給付に係る負債	347,051	365,762	400,691
資産除去債務	27,232	27,377	27,304
その他	73,334	69,893	72,689
負債合計	10,458,619	9,635,123	9,714,154
(純資産の部)			
【株主資本】	47,990,430	48,323,745	48,229,980
資本金	4,545,500	4,545,500	4,545,500
資本剰余金	5,790,950	5,790,950	5,790,950
利益剰余金	37,655,402	37,988,938	37,895,082
自己株式	△ 1,421	△ 1,643	△ 1,551
【その他の包括利益累計額】	15,400	△ 143,693	△ 186,111
その他有価証券評価差額金	89,594	80,949	42,667
退職給付に係る調整累計額	△ 74,193	△ 224,643	△ 228,779
純資産合計	48,005,830	48,180,051	48,043,868
負債及び純資産合計	58,464,450	57,815,175	57,758,023

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別 前中間連結会計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	21,089,589	19,807,138	42,342,555
売上原価	17,200,075	16,827,909	34,722,501
売上総利益	3,889,514	2,979,229	7,620,053
販売費及び一般管理費	2,104,225	2,319,553	4,441,923
営業利益	1,785,288	659,676	3,178,130
営業外収益	123,353	96,403	361,192
受取利息	1,846	729	4,164
受取配当金	6,081	6,149	57,494
為替差益	—	—	38,564
受取賃貸料	17,234	17,234	34,468
受取補償金	16,032	3,307	73,765
受取技術料	25,534	2,371	43,401
持分法による投資利益	13,920	29,996	43,175
その他	42,704	36,615	66,157
営業外費用	94,970	96,268	120,120
支払利息	4,133	4,415	8,161
為替差損	54,038	54,241	—
支払補償費	10,636	22,100	71,535
貸与資産減価償却費	13,634	12,689	26,388
その他	12,527	2,822	14,035
経常利益	1,813,672	659,810	3,419,201
特別利益	4,031	—	4,040
固定資産売却益	—	—	9
投資有価証券売却益	4,031	—	4,031
特別損失	7,507	7,520	864,570
固定資産売却損	—	—	354
固定資産除却損	7,507	7,520	30,823
減損損失	—	—	833,391
税金等調整前中間(当期)純利益	1,810,195	652,290	2,558,671
法人税・住民税及び事業税	604,944	177,937	1,075,895
法人税等調整額	△ 29,865	32,518	△ 316,001
中間(当期)純利益	1,235,116	441,834	1,798,777
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,235,116	441,834	1,798,777

- (注) 1. 1株当たり中間純利益 36円82銭
2. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

- (1) 株式数
- | | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 40,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 12,000,000株 |
- (2) 株主数 1,476名
- (3) 資本金 45億4,550万円

役員 (2020年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	中山 康 治
常務取締役 (代表取締役)	木 下 和 洋
取 締 役	岡 田 吉 郎 (第1技術本部長)
取 締 役	佐 伯 規 夫 (高松第1生産本部長 兼 第2技術本部長)
取 締 役	福 田 一 幸 (高松第2生産本部長)
取 締 役	高 尾 大 輔 (購買本部長)
取 締 役 (常勤監査等委員)	古 田 昭 博
取 締 役 (監査等委員)	森 糸 繁 樹
取 締 役 (監査等委員)	藤 目 暢 之
取 締 役 (監査等委員)	坂 井 清

(注) 取締役 古田昭博、森糸繁樹、藤目暢之および坂井清の4氏は、社外取締役であります。